



 よくある質問にお答えします

 いつから健康保険証として使えるようになるの？

健康保険証としての利用は、2021年3月から順次始まる予定です。  
利用に必要な事前登録は、2020年度ははじめから、マイナポータルで申し込みができます。



 どの病院や薬局で使えるの？


2020年度から医療機関や薬局で順次必要な機器を導入していくこととしています。2021年3月(予定)の利用開始時に、全国の医療機関や薬局の6割程度、2023年3月末には、おおむね全ての医療機関や薬局での導入を目指しています。



 マイナンバーを見られるのが不安です


医療機関や薬局の窓口職員が、マイナンバーを取り扱うことはありません。もし見られたとしても、他人があなたのマイナンバーを使って、手続することはできない仕組みになっています。



 マイナンバーカードを持ち歩いて大丈夫なの？

健康保険証として使えるようになって、受診歴や薬剤情報などプライバシー性の高い情報がカードのICチップに入ることはありません。落としたり、失くしたりした場合は、フリーダイヤルで24時間365日体制でカードの一時利用停止を受け付けています。



 マイナンバーカードの申請方法

交付申請書をお持ちの方は、**以下4つの方法**から申請できます！

 スマートフォン

- 1 スマホで顔写真を撮影。
- 2 スマホで交付申請書のQRコードを読み取る。
- 3 申請用WEBサイトでメールアドレスを登録。
- 4 申請者専用WEBサイトのURLが届いたら、**顔写真を登録、必要事項を入力して申請完了。** 交付申請書

半分近くの人がオンラインからの申請なんだって！



 パソコン

- 1 カメラで顔写真を撮影。
- 2 申請用WEBサイトでメールアドレスを登録。
- 3 申請者専用WEBサイトのURLが届いたら、**顔写真を登録、必要事項を入力して申請完了。**

交付申請書に記載の申請書IDが必要だよ



 証明用写真機

- 1 タッチパネルから「**個人番号カード申請**」を選択。
- 2 撮影用の料金を投入して、交付申請書の**QRコードリーダー**にかざす。
- 3 画面の案内にしたがって、必要事項を入力。
- 4 画面の案内にしたがって、顔写真を**撮影して送信し、申請完了。**

 郵便

- 1 交付申請書に必要な事項を記入し、**6ヶ月以内**に撮影した顔写真を貼り付けて郵送し、申請完了。

カードの仕上がりが早いスマホでの申請がおすすめ！

交付申請書をお持ちでない方は、[マイナンバーカード郵便](#)

- 1 専用サイトから手書き用の交付申請書と封筒をダウンロードすれば、郵便で申請ができます！プリントアウトしてご利用ください。  
\*手書き用の交付申請書には、**顔写真の貼付とマイナンバーの記入が必要**です
- 2 市区町村の窓口でも、交付申請書を再発行しています。本人確認書類運転免許証、パスポート等を持参の上、お住まいの市区町村へ行きましょう。

 マイナンバーについてのお問合せ

マイナンバー総合フリーダイヤル

**0120-95-0178**

受付時間: 9:30~20:00  
土日祝 9:30~17:30

▼一部のIP電話等では上記ダイヤルに繋がらない場合

連絡カード、マイナンバーカード 050-3818-1250  
その他のお問合せ 050-3816-9405

▼英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語対応のフリーダイヤル

マイナンバー制度について 連絡カード、マイナンバーカード

0120-0178-26

0120-0178-27

2021年3月(予定)から

**マイナンバーカードが健康保険証として利用できるようになります!**



マイナンバーPRキャラクター  
マイヤちゃん

公的個人認証サービスPRキャラクター  
マイキーくん



# 2021年3月(予定)からマイナンバーカードが健康保険証として利用できるようになります!



## 1 マイナンバーカードをカードリーダーにかがず

医療機関や薬局の受付で、マイナンバーカードをカードリーダーにかがします。カードの顔写真を機器、又は職員が目視で確認します。



※機器を使う場合、顔写真は保存されません。

## 2 オンラインであなたの医療保険資格を確認!

マイナンバーカードのICチップにある電子証明書により医療保険の資格をオンラインで確認します。

## 3 どうないいいことが? 6つのメリット

### 1 健康保険証としてずっと使える!

マイナンバーカードを使えば、就職や転職、引越しても保険証の切替えを待たずにカードで受診できます。



※保険者への加入の届出し引き続きが必要です。

### 2 医療保険の資格確認がスピーディ!

カードリーダーにかがせばスムーズに医療保険の資格確認ができ、医療機関や薬局の受付における事務処理の効率化が期待できます。



### 3 窓口への書類の持参が不要!

オンラインによる医療保険資格の確認により、高齢受給者証や高額療養費の限度額認定証などの書類の持参が不要になります。



※自治体独自の医療費助成等については書類の持参が必要です。

### 4 健康管理や医療の質が向上!

マイナポータルで、自分の薬剤情報や特定健診情報を確認できるようになります(2021年秋頃予定)。患者の同意のもと、医師や歯科医師がオンラインで薬剤情報や特定健診情報を、また、薬剤師も薬剤情報を確認できるなど、より多くの情報をもとに診療や服薬管理が可能となります。

### 5 医療保険の事務コストの削減!

医療保険の請求誤りや未収金が減少するなど、保険者等の事務処理のコスト削減につながります。



### 6 医療費控除もカードで便利!

マイナポータルを活用して、ご自身の医療費情報を確認できるようになります(2021年秋頃予定)。確定申告でも、マイナポータルを通じて医療費情報を取得し、医療機関等の領収書がなくても手続きができるようになります。



## 利用には事前に登録が必要です



マイナンバーカードを健康保険証として利用するためには、事前に登録が必要です。登録の申込は、2020年度はじめてからマイナポータル\*でできるようになります。

(\*)子育てや介護をはじめとする行政手続の検索やオンライン申請がワンストップでできたり、行政からのお知らせを受け取ることができる自分専用のサイトです。



## マイナンバー(12桁の数字)は使いません!



マイナンバーカードの健康保険証利用には、ICチップの中の「電子証明書」を使うため、マイナンバー(12桁の数字)は使われません。

医療機関や薬局の受付窓口でマイナンバーを取り扱うことはありませんし、ご自身の診療情報がマイナンバーと紐づけられることもありません。

ICチップには、受診歴や薬剤情報などの個人情報記録されません。